

令和3年度 埼玉県・オハイオ州グローバルスピーカープログラム後期（オンライン） 中間レポート(1)

後期メンバー 奥田寛子

1. OGSGP の概要

OGSGP (Ohio Saitama Global Speaker Program) は、埼玉県が姉妹州であるオハイオ州と提携し、今年度より開講したオンライン中心のプログラムです。主にフィンドレー大学のオンライン講義の受講やプレゼンを通して、「英語で発信する力」を日本にいながら身に着けることを目指した参加型オンラインプログラムです。

2. 自身の背景

本プログラムの参加を検討されている方へ、簡単に自己紹介をさせていただきます。私はさいたま市在住の30代、メーカー勤務です。4歳、1歳の子供がおり、月並みでございますが、仕事と育児、家事の両立が課題です。現在の業務で英語を使う機会はなく、普段は英語学習アプリやサイトを利用して自己学習を図っております。

3. プログラム応募の動機

今回の応募理由は主に2点、まずは“今の生活の範囲内で英語を使う機会を作れること”です。講義は全て、オンライン・平日20時台であるため、子供を寝かしつけた後（もしくは家族に寝かしつけを頼んだ後）でも参加可能だと判断しました。2点目は、新しい交流を図れることです。特に後期は、フィンドレー大学の学生とペアを組むとありました。同プログラムを受講するメンバーだけでなく、アメリカの学生とも親しい関係が築けるといのは、仕事と育児以外に“新しい何か”を求めていた自分にはぴったりだと感じました。

4. 所感

OGSGP は上記のオンライン講義の受講・ペアとなる学生との交流に加え、埼玉親善大使の活動もあります。活動内容は他メンバーから報告頂けると思いますので、私からはプログラム開始から1ヵ月が経過した現時点での所感をお伝えします。

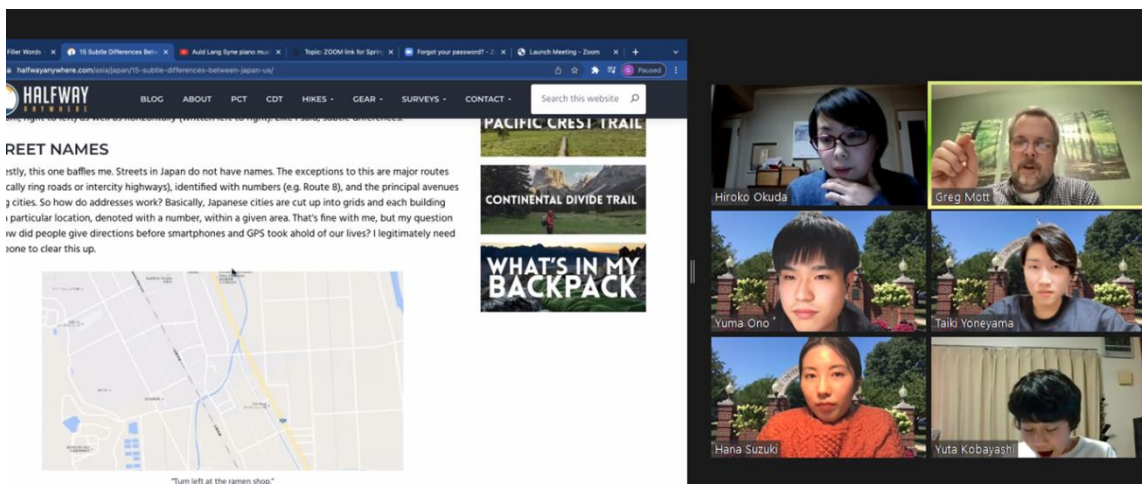
1点目は予想以上に幅広い人材交流であることです。後期は中学生1名、大学生3名、社会人である私の5名です。自分より一回り、二回りも若い方々と交流するのは、とても貴重な体験です。プログラム終了時にはどんなチームが出来上がるか、自分自身もワクワクしながらメンバーとの交流を楽しんでおります。

また、前期メンバーから、埼玉親善大使の活動だけでなく、受講の際のノウハウなども引き継ぎさせて頂いております。前期の方ともラインや打ち合わせで顔を合わせ、交流を図っております。そのおかげで今後親善大使の活動もスムーズに始められそうです。今後は少しずつ後期メンバーらしさを出しながら、埼玉県の魅力についてもお伝えできればと考えます。

2点目は、フィンドレー大学の講師や埼玉県国際課の方々、参加メンバーが、互いの事情に対して、非常に思いやりを持って接して下さることです。先月、受講中に子供が起きてしまい、やむなく、子供を寝かしつけながら受講しました。その翌日講師の方から「多様性が私たちの力です。様々な環境のもと、違った考えを持った人たちが同じ目標に向かって進むこと、これが多様性を尊重することだと思います。頑張ってください！」と暖かい言葉を頂いたのが響いております。今後も関係者皆様のご理解と思いやり、家族の協力のもと、本プログラムを全力で楽しみ尽くそう、そしてそれを少しでも地元に戻元したいと思っております。



埼玉親善大使の委嘱式の様子



講義の様子